

全道展機関紙 "ZEN" 第12号 昭和59年4月5日発行  
 発行所 全道美術協会 事務局 〒063 札幌市西区山の手3条11丁目  
 後藤庸也方 T011 (631) 1602  
 印刷 中西印刷株式会社 011 (781) 7501  
 編集委員 嵐 玲子 斎藤 洪人 坂口 清一  
 渋谷 栄一 谷内 丞 山口 惣市

# ZEN

全道展機関紙

NO.12

## 第39回全道展作品公募

■搬入

6月13日(水)～14日(木)

札幌市民ギャラリー

午前10時～午後6時

(大きさ点数制限なし)

6月27日(水)～7月8日(日)

札幌市民ギャラリー

■会期 // 全道美術協会・北海道新聞社

●出品を希望する方は返信用切手60円を添え、応募用紙を○六〇一九一札幌市中央区大通西三丁目北海道新聞社事業局文化部全道展係へ請求下さい。昨年の応募者は送付します。また有名画材店頭にも置いてあります。

### 第39回全道展近し

ということであった。

ただ論議の中で熱っぽく何回も各会員から語られることは、全道展といふ公募展のエネルギーを、どう持続させ爆発させるか、そのためには、何ういうことが必要なのか、会が

北国の春もようやく春らしくなると、例年のとおり本展へ向けての胎動が始まる。第39回展の方向性、それについての企画、立案等についての数度にわたる会務委員会と、それを受けて地区委員を含めて在札拡大委員との全道各地域の代表による地区代表委員による検討などが、数10回の会議という手順を経て、第39回展の方向性が決まる訳であるが昨年38回展での総会に於て、アンケート集計による審査の方法が話し合われたが結論が出ず引き続き、3日目の最終日に臨時総会に切り替えて侃侃諤諤検討したが、最終的な判断は会務委員会に委託された。

なかには将来的な展望にたち、会期中にローテーションを組んで部門別にするとか、あるいは各部門毎に独立して会期を持つとか、発想としてはユニークであったが、時期尚早

といふことであった。

ただ論議の中で熱っぽく何回も各会員から語られることは、全道展といふ公募展のエネルギーを、どう持続させ爆発させるか、そのためには、何ういうことが必要なのか、会が生氣を失わないで活力を持続させていくためにはどうあるべきか、適正なる審査とは等々特に授賞については、それぞれ4部門の価値観の違いはあるが、常に連帶を失わないで、部門エゴにならず、「厳正にして中正なる審査」という会の基本理念を何回も確認しあった。組織が拡大し、各部門毎の会員も多くのと審査の方法も多様化した考えが出てくるのは、当然である。38回展より実行された部門毎の審査も非常に慎重に行われたのであるが、現段階では授賞については全会員による審査により決定するが、将来は、授賞、会友、会員推举などについては軌道を修正しながら模索しつつ適正な方向性を打ち出さねばならぬ

いだろう。

ともあれ、第39回展において、会友諸君を始め、出品者の新しき血と、若き獅子達の台頭を期待すること大である。

### 新事務局紹介

事務局長 後藤 庸也  
 会計 池田 正之助

編集	斎藤 洪人 / 渋谷 栄一
本展	久守 昭嘉 / 寺崎 源治
審査	青木 淳子 / 田部 隼夫
会合	大地 康雄 / 青木 淳子
巡回展	前野 昌市 / 山本 一也
企画展	寺崎 源治 / 久守 昭嘉
学生展	田部 隼夫 / 山口 惣市

### 第26回学生美術全道展

搬入 / 9月2日(日)

会期 / 9月6日(木)～11日(火)

会場 / 札幌 #今井

搬入は、札幌市民会館です。応募用紙は、有名画材店又はテ○六〇一九一札幌市中央区大通西三丁目北海道新聞社事業局文化部全道展係へ返信用切手60円を添えて請求下さい。

# わが思索と行動



『.....』

北 浦 晃

「また面白いこと引き受けちゃったんだつて」『そうなんだ。『わが思索と行動』つてテーマで二千字くらい書けつていうんだけど』『それ面白そうじゃない』『でもオレ物思つて耽けるとか、思案に暮れるとかぐらはいはするけど、思索なんてことしない人だからね』『じや行動について書いた言葉をどんな意味にとつてみたってオレには一番無縁な言葉なんですね』『なにもしないこもんね』『しないね。なにもしないこ

うの、読んで勿論それなりの感銘を受けたんだけど、オレのようないーー的の大江アンにとつてはもつと小説を書いてほしいんだよね』『そういえばもう十年以上も前からかわいいでくれよ。行動つて取りあげた頃あんたが突然大江の話を始めたよ』『あの時話したのはきっと、大江の小説の部分と全体つてことだったと思うけど、それは自分の絵の問題でもあったんだ。絵かきが一小説家だつてそうだけ

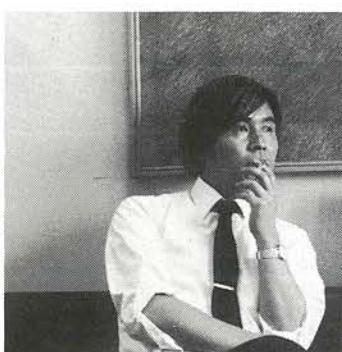
いうの、読んで勿論それなりの感銘を受けたんだね。オレが一般教養の文学で大江フアンにとつてはもつと小説を書いてほしいんだよね』『そういえばもう十年以上も前にとつては大事なことなんだよ』『なるね。オレが一般教養の文学で大江を始めの一変な絵かきだなと思ったのね』『からかわいいでくれよ。行動つて取りあげた頃あんたが突然大江の話を始めたよ』『あの時話したのはきっと、大江の小説の部分と全体つてことだったと思うけど、それは自分の絵の問題でもあったんだ。絵かきが一小説家だつてそうだけ

いうの、読んで勿論それなりの感銘を受けたんだね。古いのから順に丁寧に観てきて、『なんだか随分単純な論理だけど、気持ちわかるよ』『気持ちだけしかないんだからーーオレ。だけど大江の小説を頭をからっぽにして読むつていうのはかなりな娯楽だよ。音楽聴いてるのと同じなんだ。オレたち年代の不安感とでもいつたのが言葉のリズムになつて染み込んでくるようないだ

そのことがね、絵はひと目で全体を観ることもできるんだけど、絵かきにとつてはやはり部分ずつしか書けないつていうことがね、オレにとっては大事なことなんだよ』『なんだから順に丁寧に観てきて、最後に西武でスートーリーをやつていて、あ、スートーリーってそこに因縁あるけど、50年代の、オレたちにとつて一番馴染み深い頃の絵の前に立つてたらね、あ、フランス絵画ってこういうものなんだなつていうことが、二日がかりで観てきたドラクロアやコロー、クールベやマネの絵にずっと流れていたものがわかつたと思ったんだ。ヨーロッパ旅行の疲れた眼で観るよりずっと良く観れたと思うよ』『それは強がりだらうけど、なんの、そのフランス絵画の本質とやらは』『それを説明できないんだよね。感じたことを言葉に置きかえて、それが思索つてことだと思うけど、考えたり話したり書いたりつて能力がないんだな。そのまま自分の絵の前に立つ。そうすると自分の絵のダメなところがはっきり見えてくる。やっぱり全体と部分の問題なんだけどね』『なんかよくわからないけど、大江とフランス絵画のことでも書いたらその思索と行動つていう原稿なんとかなるよきっと』『でも時間がなくて一このまま出すよ。

いたとえば今日書くことができるとは部分でしかない。全体を書くなんてことはできなかつたんだからね。その部分の集積が全体になるわけで、そしたら、そのことはきちんと意識しておかなければならぬ。きちんと意識しておかなければならぬつて、オレはそう思つているんだ』『ティールがどうかつていつたね』『素人だから勝手なことといつたんだけど、小説読むんだつて部分しか読めないでしょう。正確にいえば部分ずつしか読めない。音楽と同じでね。全体を聞くなんてことできない。

から長けりや長いほどいいんでね。上・下二冊本くらいのをまた書いてほしんと思つてゐるわけさ。外国なんか行つてないで』『「外国つていいえ、絵かきさんはよくヨーロッパに行くだろ。あんたは行かないね」『オレだって行きたくて行けなかつた時期の方が長いんだけど、今じや行かないことにきめてしまつたみたい。でもオレたちENの企画を台無しになつちやつたみたいだな』『じや、題無しつてことにしたら』



画展・印象派後期印象派展なんていのがそろつていたんで出かけて行つたんだ』『結構行動的じやない』『東京ぐらいは行くよ。それでね。古いのから順に丁寧に観てきて、最後に西武でスートーリーをやつていて、あ、スートーリーってそこに因縁あるけど、50年代の、オレたちにとつて一番馴染み深い頃の絵の前に立つてたらね、あ、フランス絵画ってこういうものなんだなつていうことが、二日がかりで観てきたドラクロアやコロー、クールベやマネの絵にずっと流れているのがわかつたと思ったんだ。ヨーロッパ旅行の疲れた眼で観るよりずっと良く観れたと思うよ』『それは強がりだらうけど、なんの、そのフランス絵画の本質とやらは』『それを説明できないんだよね。感じたことを言葉に置きかえて、それが思索つてことだと思うけど、考えたり話したり書いたりつて能力がないんだな。そのまま自分の絵の前に立つ。そうすると自分の絵のダメなところがはっきり見えてくる。やっぱり全体と部分の問題なんだけどね』『なんかよくわからないけど、大江とフランス絵画のことでも書いたらその思索と行動つていう原稿なんとかなるよきっと』『でも時間がなくて一このまま出すよ。

あのおとなしい渋谷さんから催促の電話もちらつやつたから、〆切りはとうに過ぎてるんだ。なんだかせつかくのZENの企画を台無しになつちやつたみたいだな』『じや、題無しつてことにしたら』

世フランス絵画展・19世紀ヨーロッパ風景



▲ゴッホ像(ザッキン)の前で筆者(左)と会員

パリ一〇〇日の滞在も終わりに  
きています。

三ヵ月余りですが、仕事柄結構  
コマゴマした品物があり、それで  
捨てがたく、やれ船便だ、航  
空便だ、トランクなど整理の最中  
です。そんな時の原稿依頼で反省  
の間もない、生々しい報告となるか  
もしれません。

この度、北海道の海外文化事業  
助成の補助金という今まで浴した  
ことのない公金をお上から頂いて、

今にして思えば、それは正解で  
あったと思います。勝手知つたる  
(?)所へ再度行ってどうするか  
?という疑問もありました。然し  
乍ら以前は全てが新鮮にして、驚  
きと感嘆で終始した様に思えるの  
です。この度は出来る丈有意義な  
自分自身を含めて以前とは異な  
る面を深めようとに努めまし  
たので、この一〇〇日は一年以上  
に匹敵するでしょう。尤も、大い  
なるアドバイザーとして、今年で  
一〇年滞仏の全道展会員、姥子善  
悦氏の存在は、私の視点を変えさ  
せてくれました。ムツシユウ・エビ  
コとは、それ程親しい間柄ではな  
かったのですが、岸葉子さんと

研修を致しております。

私がパリを選んだのは、道序か  
らの話が急なことであり、受入先  
のコンタクトをとるのに時間もな  
く、一二年前に一年程住んだパリ  
にしたのです。

## パリ通信

### 渡会純一

もに意氣投合は永年の知己との再

とかく、長い月日の工房にはト

ラブルが起きがちですが、ヘイタ  
ー氏の存在が今日を支えていると  
言つて過言ではないでしよう。

工房では初心者、ベテランに限  
らず、必ず練習板なるジングル板  
(凡そ15×20センチ)を与えられ、  
色々なテクスチャールを一〇回以  
上試み、最後に深いエッチングを  
して刷り上げるというプロセスを  
経なくてはなりません。これが大  
変な時間を要し、私は三ヶ月をほ  
とんどこれに要し、その間に、他  
の人の仕事振り、制作方法など  
道展むけパリ報告を致しました。

見聞しておりました。これが私に  
とつて最も大きな収穫といえるで  
しょう。どんなにつまらないこと  
でも共同作業の中に存在する弊害  
はさかれられず、言葉の問題でもな  
く、共通の課題として対処するこ  
とは、この工房の素晴らしい面と  
思います。日本においては、どうし  
ても一人アトリエに籠り、他の目  
を気にすることなくやっていまし  
たが、他人の中での仕事も重要な  
こと、それが一つのきっかけ  
として大きな飛躍となり得るであ  
りましよう。

会話の少ない外国人との混り合  
いのうちに、気心を知り、若い女  
達とも交流し、短かい工房での仕  
事は、楽しいひとときでもあつた  
訳です。

世界、所変われば品変るの論で、バ  
ードランセルの工房と異なる点が多  
々あり、戸惑つたものです。

主宰するウイリアムズ・ヘイタ  
ン氏は、誠に親切で、英語、フラ  
ンス語(たまにはスペイン語も混  
え)を自由に操り、女性などには  
おしゃべりをなでながらの解説に女性  
群は陶酔している様です。それで  
いて、いやらしさのない八二才と  
は思えない若々しさで、私自身も  
流石がグラン・メートル(大先生  
)に相応しい存在と風格を垣間み  
たのであります。

渡会純一  
Paris Hotel VILLERET にて

春の企画展「全道展札幌地区会員小品展」6月4日(月)~6月9日(土)大同ギャラリー・札幌

道都さっぽろの中心に  
美と芸術のひろば

アートギャラリー さいとう

札幌市中央区南1条西2丁目④隣  
丸一ビル2F T 011(222)3698

オーク画材

札幌時計台  
ギャラリー

〒060札幌市中央区北1条西3丁目  
札幌時計台文化会館 ☎261-8971

洋画・日本画材料

大丸藤井  
セントラル

札幌・南1西3



# 全道展とわたし・全道展とわたし・全道展とわたし・全道展とわたし・全道展とわたし

絵画・苦小牧  
高橋 正敏



上の大作群のボリュームに圧倒され氣の遠くなる様な思いをしたものだった。

その後全道展一本に絞り、出品を続けて来たのは、会員のバイタリティある作品群、厳しい審査という魅力に他ならない。出品することが自分の支えになつていた様に思う。

先日もF先生に「才前ノ絵ハナンダ! アンナ描キカタガアルカ!!……」と叱咤された。

F先生の言葉の裏の暖かい励ましをバネにして、新しい画布に向う。

毎日通勤バスの中から変化のない風景を眺めながら頭の中に身近に点在する形を構成していると思わぬイメージを基にした私の個人的な風景になります。

彫刻・札幌  
本田 泉



「全道展とわたし」という題材で、原稿の依頼が来たとき、私は正直言つて考へ込んでしまった。

それまで、全道展と私は、単に公募展と出品者という離れた関係でしかないと思っていた。しかし、今まで三回ほど出品しているうちに、少しずつであるが、全道展という大きな空間に、つま先から、

指先から入り込んでいるのに気づいた。そして昨年は、北海道新聞社賞という大きな賞を頂き、一気に空間の中に飛び込んだ。

私にとってこの空間は、母親の胎内のように暖かくそしてやさしく包んでくれるのか、地の果ての洞窟のように、暗く冷たいものなのかはわからない。どちらにしても、この空間の中では、みんなが動いている。動かないものは、そのうち外に追い出されていくだろう。

私がみんなを見ているように、みんなも私を見ている。止まつてはいられない。

版画・札幌  
越谷 賢一



去年から「SWITCH-ON」のシリーズをシリクスクリーンで作っています。

大きさは五〇号〜一五〇号程のもので、スイッチのONを筆で書き、その筆跡に映像を入れています。

なぜONかと言いますと、ONは單なる指示語ではなく、ONとの関係で行為を意味しており、その行為は、機械文明

絵画・栃木  
池田 征史



北海道に生まれ、受験のため東京へ行ってから永い放浪の末に落ち着いた先が栃木県。しかしどんなにこの地を愛しても、人間性はやはり先祖と同じく(屯田兵)夢を呼び、雄大で何かを語ってくれる北の地以外の何物でもない。何時の日か、かならず故郷へ帰るぞと思ひながら

車のキイのスイッチから決で、かつ頻繁に繰り返される行為であり、その意味で現代社会の基本的な行為を端的に表わした文字だと考えるからです。そのONに現代的典型的な風景の一つを映像として入れることによって、行為と文字と映像との結びつきを考え、またONの中の映像のピントをぼかしたり、網点の大きさを変えたり、さらにそれを重ねて刷ったりすることで、スイッチを入れることと「ON」の意味を考えみたいと思います。

も、海が恋しい、美味しい魚が食べたい、沢山の雪と暮したいなどと次元の低い押問答を心の中でやりながら高校生の時、学生全道展へ出品した事があります。それ以来、故郷は遠い過去の物となり、栃木県人として暮してみて、生まれ故郷が如何に良い物か。北海道へ帰りたいといふ夢が昨年、全道展へ出品させる切掛けとなりました。お米とかんぴょうの栃木、僕にとって北海道よりも寒く、子供に寒がり屋と言う仇名を頂戴しております。

近くには日光、那須、鬼怒川、足尾銅山、大谷石の産地、さつきの鹿沼、隣の町が陶器の益子焼の里。現代絵画と日展系との美術館問題に巻き込まれ、かえる公害のアトリエで奮闘する道産子。



## かくも盛大に 全道展新年会

一月二七日(土)午後六時

共済サロン

今年も全道から八〇数名を一同に豪華絢爛たる大広間を会場に全道展新年会が開かれた。セレモニ

ーは後藤庸也、国松登両氏から

全道展代表挨拶、引き続き挨拶

から阿部香作氏より簡単なご挨拶があり即ち、なごやかな宴會へ入る。

会場はシヤンディアが美しく輝

やき中央に設定されたバイキング

形式が色どりを添え屋台も並び雰

囲気は上々である。

祝杯の音頭は荒巻義雄氏「昨年

は東京に大地震があると予言しま

したがなくてよかつた……今年は

又良い作品を」とユーモアたっぷ

りに「乾杯」。一同氣勢を上げた。

賑々しい交流は時を忘れ、暫し

過ぎた頃からアルコールの勢いに

のつて余興への興奮が火蓋を切つ

た。

先づ主なスタッフを部門前に紹

介、先づ歌謡曲部門では佐々木悦

子、中橋修、菊地章子さん等の美

声は言うまでもなく、特にユニー

クな存在として伏木田光夫さんの

ゼスチュア混りの歌に目を見張り、

本田明二さんの超低音で魅力のロ

ーは同うつとり魅了さ

れたもの。手品部門では、国松登

さんのタバコの手さばきはいつも

の味。他に招待者の方々の隠し芸

もあり、全員参加のダンス会等老

若男女同志一同大いに踊る。

その他紹介すればきりがなく、

全道展には多種多芸者多く底を

くことがない。

楽しいムードが漂うなか立食の

会も終りに近づく頃抽選も簡単に

し、閉会の乾杯、斎藤元護さん、

そして最後に池田正之助(事務局

私の場合、すべてが渾沌としています。現在乃至自然と何處で離れるべきか。眼に見えないものを如何に彫刻自体として表現するのか。素朴の特性、造型原理、立体感として表わされる遠く遙かなもの、これらの関係……。何一つとして明瞭な

彫刻・茨城  
西山昇



ものがないのです。合理的に概念化しようとなどとすれば、たちまち頭が痛み出します。教員になつてから、しばらく

ことになります。ただ一つわかっているのは、彫刻に夢中になってしまっている瞬間があるということになります。

すべては作品となつて表われます。造れる程度に触覚として把握していること

はあるのでしよう。つまり、私は造れるようになかなかいる(あるいは造れるようになかなかいない)と言うことはできると思うのです。

渾沌としたものを明確にしようと手を動かしながら、一方では自らの自由な作用でそれを規定できずにつれて走っている。そのようにしてできた彫刻を、今年もまた全道展の会場でお目にかけることができればと思います。

昨年は、陶器のオブジェで佳作賞をいたしました。ただ、加えて会友に推挙されるという私にとって記念すべき年になりました。

全道展の初入選は、第二回展ですから、もう、一〇数年も前になります。学生時代に、成型合板の照明器具を

工芸・帯広  
金子章



出品したのが、全道展との付き合いの始まりです。教員になつてから、しばらく制作から遠ざかっていましたが、ある日、折原久左エ門先生から焼物のお話を伺つたのがきっかけで陶器に転向し、今まで、自宅に窯を築くまでになりました。

北海道での陶芸の仕事は、歴史も浅く、粘土や釉薬が凍らないようにと地下室を作り、通年制作に心がけていますが、なかなか思うように仕事が進まないのが実態です。

昨年の出来事をひとつ糧として、また、私自身を変えていきたいと思います。

伝統もないで、条件としては厳しいのですが、それだけ自由闊達な造形表現が可能だと自分勝手に考えています。冬場、粘土や釉薬が凍らないようにと地下室を作り、通年制作に心がけていますが、なかなか思うように仕事が進まないのが実態です。

昨年の出来事をひとつ糧として、また、私自身を変えていきたいと思います。

隼夫、谷口一芳、土屋いづみ、土屋千鶴子、寺崎源治、永井みよ子、中江紀洋、中橋修、中丸茂平、中村静枝、夏山亜貴王、二部静世、野本醇、長谷川順子、菱和子、平間文子、平間正造、福島孝寿、伏木田光夫、藤島清士、本田明二、前野昌市、三上博子、三沢邦子、山口惣市、山崎澄恵、矢下瑛子、安田侃、山下脩馬、横山昭子、米谷哲夫、艾沢祥子、渡部重夫、ベルトミウ・ブライザビエル(スペイン人)、河井恵子(通訳)、相原真人、阿部香作、木村和男、荒巻義雄、伊藤政蔵、斎藤公美雄、斎藤元護、宮田久、渡辺伊八郎。

(八五名)  
(尚、出席予定者で一〇数名連絡もなく姿がみえなかつたことは非常に残念に思いました)

(カット、文、大地康雄)

全道展・図録・ZEN等への  
意見要望・質問など

全道展・図録・ZE  
意見要望・質問など

・全道展にレクリエーション部門をもつと企画してほしいです。例えば夏は海、冬はスキーや、年末はクリスマスダンスパーティ等を企画されはどうでしょう、図録に、もっと芸術論や技術論等が多く掲載して、内容面も深いものにして欲しいです。

卷之三

仲間のたよし

朱子語類

ZEN

## 個展グループ展案内

- 三箇三郎常設個展
  - 本年一年間 五稜郭ニューギャラリー  
函館
  - 草展（竹岡羊子ほか独立展選抜メンバーによる）  
2／27～3／3 望月画廊・東京銀座
  - 森田喜昇展  
3／9～3／14 西武ホール・旭川
  - 佐藤哲夫個展  
3／26～3／31 時計台ギャラリー
  - 岸本裕躬個展  
4／2～4／7 資生堂ギャラリー・東京
  - 36会展（本田、渋谷、谷口、竹内、渡会、嵐、参加）  
4／5～4／10 札幌さいとうギャラリー
  - 第20回琴似画会グループ展  
4／9～4／14 時計台ギャラリー
  - 砂田陽子個展  
4月下旬 時計台ギャラリー
  - 小島真佐吉個展  
5／8～5／14 パークホテル画廊・札幌
  - 本田明二彫刻小品展  
5月下旬 エルム画廊・札幌
  - 高橋要個展  
5／30～6／3 札幌市民ギャラリー全室
  - 鶴川五郎油絵個展  
5月下旬 時計台ギャラリー・札幌（45点）  
9月上旬 テーオー小笠原4F・函館（70点）
  - 徳丸滋展  
7／9～7／14 時計台ギャラリー
  - 土屋千鶴子個展  
7／9～7／14 時計台ギャラリー
  - 八木保次個展  
7／16～7／21 大同ギャラリー4F・札幌
  - 八木伸子個展  
7／16～7／21 大同ギャラリー3F・札幌
  - 大地康雄油絵個展  
7／30～8／4 時計台ギャラリー
  - 北の彫刻展（本田明二、秋山沙走武ほか）  
7／31～9／15 札幌市彫刻美術館
  - 北斗会（彫刻家集団、秋山沙走武ほか）  
8月上旬、函館④今井デパート
  - 福井正治個展  
8／13～8／19 大丸藤井ギャラリー・札幌
  - 山口惣市個展  
8／27～9／1 時計台ギャラリー・
  - 松岡康夫個展  
8／27～9／1 大同ギャラリー・札幌
  - 鎌田俳捺子個展  
9／3～9／8 時計台ギャラリー
  - 中橋修個展  
9／10～9／15 時計台ギャラリーB室・札幌
  - 越谷賢一個展（シルクスクリーン）  
9／3～9／8 NDA画廊・札幌  
9／17～9／22 シロタ画廊・東京
  - 本城義雄個展  
9／10～9／15 時計台ギャラリー
  - 坂原チエ個展  
9月上旬 ギャラリーレティナ2・札幌
  - 秋山沙走武彫刻個展  
10／31～2週間、東京日本橋三越本店

—昨年一月から今年一月のヨーロッパ旅行をしていました。な冬のようでしたし、ない季節で、何處に住んでくることがあります出来ました。ステルダム、ミュンヘン、ボルチチエルリ、フランクフルトのショットリットツーの旅行は、今まで多くの機会に、そして、以降と出会ったように、「へ」という気持ちでしたので歩きまわっております。は殆んどバリでした。何かとお世話になり、ベリをはして、とてもやりました。オランダの車でノルマンディーを満喫し、絵に打ちっぱなしの個展、日本で今進めているような車の車でノルマンディーを満喫し、絵に打ち

● このところ全道展の出品者数が横ばいの状態ですが、若い人がどんどん出品してほしいですね。来年は創立四十周年です。皆さん、仲間に呼びかけて出品者を増やしていきましょう。ZEN編集局の皆さんご苦労さまです。

トルタの海、そしてルアーブルで見たデュフィイの海の絵……。私より一寸おくつろいで渡さんがあるが、バリーに来られ、結局ホテルに滞在しました。よく夕食を一緒に致しました。帰国してから渡辺利礼さんが、全道展の東京の人達に呼びかけて

住所		電話番号・呼称変更と
水落	渡部 重夫	二〇四七 小樽市緑一一一
啓	森 ヒロ子	二〇四四 (七八八) 七三九
谷口	六一三三	二〇六四 札幌市中央区宮の森一一七一一
安井	尾崎 志郎	二〇一 (一一) 三七七
一芳	八木 伸子	二〇一 (六二二) 八三五
四一九一	森 清	二〇一 (六二二) 八三五
四一九一	村元 俊郎	二〇四七 東京都豊島区千早町二一一一
四一九一	森田 喜昇	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	Apdo Postal NO.578	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	Mé xico	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	Ensenada,B.C.M.	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	蛯子 善悦	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	27 rue Tré zel 92 Ler	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	allos FRANCE 737(8230)	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	安多 郁子	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	寺崎 源治	二〇三 (九五七) 八四三七
四一九一	岡四条九丁目一一一七	二〇三 (九五七) 八四三七
浜西	浜西 勝則	二五九
浅野	一六一三一〇	二〇五五一一〇
帆	水戸市上水戸四	沙流郡平
取町	一六一三一〇	沙流郡平
本元	元会員富谷道信氏、二月一二	トルタの海、そしてルアーブルでみたユエフ会の海の絵…………私より一寸おくに致しました。帰国してから渡辺利和さんが、全道展の東京の人達に呼びかけて、全道展のことをもっとよく考えようということでお骨折り下さいまして、春になつたら会をもつことになつたようです。
謹	● バハ、カリヲルニア御招待状 謹 啓、この度貴殿をバハ、カリヲルニア名と總領度にお迎えすることになりまつた。付きましては、貴殿の概略のご予定をお知らせ願えれば幸甚に存じます。当方としましては本年中か数年中が適切と考えております。二〇年後ですと本官の任期切れ(他界)が確実ですので念のため、敬具 御招待規定、尚、会期中お迎えするホテル、バハ、カリヲルニア、ガランド、レストラン、セカイタバモノ、ミナナルド、バーチキーラ、デルゼンブル、送迎車(ス・アンゼルス、エヌサダナ間)等の総経費は、日本円で五円也と規定されて居ります。	ホテルに滞在しました。よく夕食と一緒に致しました。帰国してから渡辺利和さんが、全道展の東京の人達に呼びかけて、全道展のことをもっとよく考えようということでお骨折り下さいまして、春になつたら会をもつことになつたようです。
謹	● バハ、カリヲルニア御招待状 謹 啓、この度貴殿をバハ、カリヲルニア名と總領度にお迎えすることになりまつた。付きましては、貴殿の概略のご予定をお知らせ願えれば幸甚に存じます。当方としましては本年中か数年中が適切と考えております。二〇年後ですと本官の任期切れ(他界)が確実ですので念のため、敬具 御招待規定、尚、会期中お迎えするホテル、バハ、カリヲルニア、ガランド、レストラン、セカイタバモノ、ミナナルド、バーチキーラ、デルゼンブル、送迎車(ス・アンゼルス、エヌサダナ間)等の総経費は、日本円で五円也と規定されて居ります。	ホテルに滞在しました。よく夕食と一緒に致しました。帰国してから渡辺利和さんが、全道展の東京の人達に呼びかけて、全道展のことをもっとよく考えようとい
謹	● バハ、カリヲルニア御招待状 謹 啓、この度貴殿をバハ、カリヲルニア名と總領度にお迎えすることになりまつた。付きましては、貴殿の概略のご予定をお知らせ願えれば幸甚に存じます。当方としましては本年中か数年中が適切と考えております。二〇年後ですと本官の任期切れ(他界)が確実ですので念のため、敬具 御招待規定、尚、会期中お迎えするホテル、バハ、カリヲルニア、ガランド、レストラン、セカイタバモノ、ミナナルド、バーチキーラ、デルゼンブル、送迎車(ス・アンゼルス、エヌサダナ間)等の総経費は、日本円で五円也と規定されて居ります。	うことでお骨折り下さいまして、春になつたら会をもつことになつたようです。

小野寺紀子	黒田 栄一	一三三
佐藤 忠良	一九二—〇一	一二一
佐藤 靖	一六八	一一一
夏山 豊貴王	一〇〇—	一〇〇
渡辺美智子	五条二丁目四—二五	一〇〇
羽山 欣周	六条二丁目一三—一〇	一〇〇
栗橋 憲夫	一四条西二丁目七一—四三	一〇〇
齊藤 降博	一〇〇—二	一〇〇
境 進	札幌市北区拓北 別別旭町一八	一〇〇
佐野 忠男	一〇四—	一〇四
手代木 悅	一六四〇	一六四〇
全道展に關するお問い合わせは次 の所へ。	全道展事務局／一〇六二三札幌市西 区山の手3条11丁目一〇一（六三 一）一六〇二 後藤康也	一六〇—一
・北海道新聞社事業局文化部全道展 担当／一〇六〇一九一札幌市中央区 大通西三丁目一〇一（三二二）二	一〇六〇一九一札幌市中央区 大通西三丁目一〇一（三二二）二	一〇六〇一九一札幌市中央区 大通西三丁目一〇一（三二二）二